

パソコン管理人

今、何してる？ Premium

取り扱い説明書

ユーザー登録はこちらから
<http://www.de-net.com/pc/kounyuu>

DE-117

De-
Net
com

目次

目次	01
はじめに・動作環境	02
その他(注意・免責事項)	03
インストールとアンインストール方法	04~07
起動方法	08
ライセンス登録の方法	09
画面説明1	10
初期設定方法	11~12
Q & A	13
画面説明 2	14~18
クライアントリスト	14
クライアント情報(画像表示部分)	15
クライアント情報(アプリケーション表示部分)	16
コマンドパネル	17
グループリスト	18
操作方法	19~26
基本的な監視方法	19~21
基本的な制御方法	
時刻合わせ	22
メッセージの送信	23
クライアントのアプリケーションを終了させる	24
クライアントの電源管理等・その他	25~26
コマンドパネル項目説明	27~41
基本的コントロール	27~29
システムコントロール	29
コミュニケーション	30~31
情報取得	32~33
スケジュール実行	33~34
クライアント登録、環境設定	35~38
メンテナンス	39~40
ヘルプ、終了	41
履歴の管理	42
Q & A	43~44
ユーザーサポート	46

はじめに

はじめに

この度は、株式会社De-netの『パソコン管理人 今、何してる? Premium』をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本ソフトは、管理者用パソコンのコントローラー(親)からLANで接続されているクライアント(子)のパソコンを監視や制御、各種操作を行うことができるソフトです。
本ソフトを導入することにより電源投入や切断、操作や作業内容の確認、パソコン使用者に対して監視されているという意識を持たせることで、禁止行為や犯罪行為の抑止力にもなります。
複数のパソコンを一括して管理するのに大変便利なツールです。

動作環境

コンピュータ

[対応OS]	Windows 2000/XP ※OSが正常に動作している環境でお使いください。 ※ServerOSには対応しておりません。日本語OS専用ソフトです。 ※インストールは管理者権限を持ったユーザで行ってください。
[CPU]	PentiumIII 以上
[メモリ]	128MB以上 (256MB以上推奨)
[ディスプレイ]	1024 x 768以上の解像度で色深度16bit以上表示可能なもの
[ハードディスク]	100MB以上の空き容量
[CD-ROM]	倍速以上

ネットワーク

- ・Eメール、インターネットへの接続環境が必要です。
- ・コントローラー、クライアント間の通信において各コンピュータにインストールされているウイルス対策ソフトや、Windowsファイアウォール等で完全に遮断されたファイアウォール越しに本ソフトは通信できません。
- ・コントローラーとクライアント間においてTCPおよびUDPでの通信が可能なネットワーク環境
コントローラーとクライアント間で、基準ポート番号(初期値:17777)を中心として、+30の範囲のポートがオープンになっている必要があります。
※電源の遠隔投入機能を利用するには、ブロードキャストパケットが通過出来ること。
※画像の配信機能などを利用するには、IPマルチキャストパケットが通過出来ること。
※10BASEのEthernetで画像取得ができない場合、シンプレックス(半二重通信)でお試しく下さい。

ご注意ください

本製品をご利用いただくには、インターネットでのユーザー登録が必要です。

本製品を誤った場所や場合での使用をされると、不正アクセスや不法行為に関する法律に抵触しますので十分ご注意ください。

管理者用の「コントローラー」と監視用の「クライアント」は同一PCにインストールすることは出来ません。本製品のご利用には最低2台のLANで繋がったPCが必要となります。

お使いのOSの設定や、LAN環境などにより、本製品の一部の機能が動作しない場合がございます。

ユーザーサポートは、本製品自体の操作説明のみとなります。LANの設定方法やその他専門知識のサポートは出来ない場合がございますのであらかじめご了承下さい。

管理者用の「コントローラー」は1台のPCにのみインストールしてご利用いただけます。

複数台のPCにインストールする際は、インストールする台数分パッケージをご購入いただく必要がございます。

本製品でインストール可能なクライアントPC数は10台までです。

管理可能なPC数を増やすには別途クライアントライセンスの購入が必要です。

本製品は2年次以降のご利用には1年毎の更新手続き（¥10,000～）*が必要です。

*クライアントライセンスを追加購入した場合、ライセンス数に応じて更新時の料金が上がります。

詳しくは弊社ホームページ(<http://www.de-net.com/pc/kounyuu>)をご覧ください。

WindowsOS等は更新した状態でお使いください。また、パソコンのトラブルにつきましては、各メーカー様へお尋ね下さいますようお願い申し上げます。

その他ご不明な点などはパッケージ裏面のユーザーサポートまでお問い合わせください。

無料ユーザーサポートの通信料・通話料はお客様の負担となります。

本ソフトの動作以外のご質問や各種専門知識などのお問い合わせには、お答えできない場合があります。

開封後の商品について

※製造上の原因による製品不良の場合は、新しい製品と交換させていただきます。

また、本ソフトに瑕疵が認められる場合以外の返品はお受け致しかねますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

その他（免責事項など）

Microsoft Windowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。記載されている各会社名、商品名等は各社の商標または登録商標です。

本ソフトを著作者の許可無く賃貸業などの営利目的で使用する事、並びに改造リバースエンジニアリングすることを禁止します。

本ソフトを運用された結果、お客様の期待した効果が得られなかった場合及び、本ソフトの使用により発生した損害・影響につきましては弊社または販売は一切の責任を負わないものとします。

弊社では、ソフトの動作関係のみのサポートとさせていただきます、パソコン本体の操作方法やソフト上の専門知識に関するご質問等には、お受けいたしかねます。

予めご了承下さいますようお願い申し上げます。

製品の仕様、パッケージ、画面内容等は予告無く変更することがあります。

インストールについて

本ソフトにはコントローラー(親)とクライアント(子)の二つのプログラムに分かれており、それぞれの役割は、管理と帰服の関係にあります。コントローラーからLANを通じてクライアントを監視、制御します。

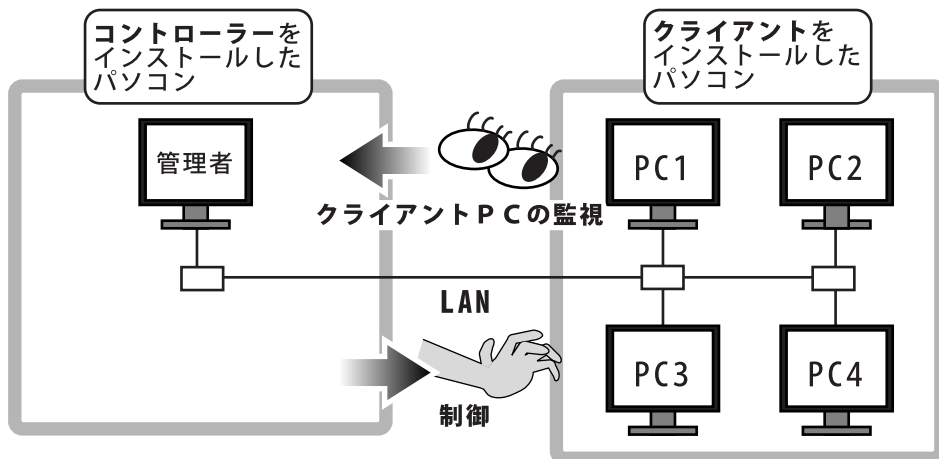
コントローラーは管理者用のコンピュータに、クライアントは監視や制御を行いたいコンピュータにそれぞれ別のプログラムをインストールします。

この各プログラムをインストールするべきコンピュータに間違えてインストールした場合、本来の使用目的を遂行出来なくなりますのでご注意ください。

また、基本的には同一LAN内でコントローラーをインストールするコンピュータは一台のみでご利用ください。

※1パッケージにつきコントローラーは1台分だけですので、1パッケージのご購入で複数のパソコンにコントローラーをインストールして使用することはできません。

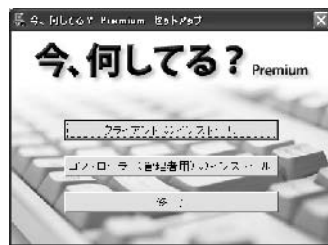
※複数のコントローラーをインストールする場合は、コントローラー台数分のソフトが必要です。



CD-ROMを入れると最初に起動するプログラムからインストールするプログラムを選択します。

管理者用のパソコンには「コントローラー」のボタン、監視や制御したいパソコンには「クライアント」のボタンを押してインストールを開始します。

また、本ソフトのインストール完了後には、再起動を行う必要がありますので、作業中の他のプログラムや編集中のファイルは保存、終了を行ってからインストールを行ってください。



アンインストールについて

アンインストールは通常のソフトのようにコントロールパネルの「プログラムの追加と削除」からは行えません、これは、クライアント側のパソコンで使用する人が容易に本ソフトをアンインストールしてしまうのを回避する為のものです。

アンインストールは各インストール先のフォルダにあるアンインストールプログラムから行います。

また本ソフトのアンインストール完了後に再起動する必要がありますので、作業中のプログラムや編集中のファイルは保存、終了を行ってからアンインストールを行ってください。

インストール方法(コントローラー)

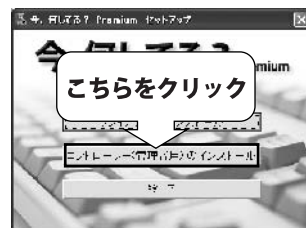
最初に起動中の他のアプリケーションソフトを停止させる

他のアプリケーションが起動している最中や、ウイルス対策ソフトなどの常駐型ソフトが起動している場合は、機能を事前に停止・又は終了させてからインストールの作業を行ってください。

※WindowsOSやお使いのパソコンそのものが不安定な場合も、正常にインストールが行われない場合がございます。

※お使いのコンピュータの設定や、インストールされている他のアプリケーションソフトにより、自動でセットアップが始まらない場合がございます。その場合は、〔マイコンピュータ〕→〔CD-ROM(またはDVDドライブ)〕→〔setup.exe〕をダブルクリックしてください。

管理者用のコンピュータにインストールする場合は「コントローラーのインストール」を選択します。



1. 「コントローラーのインストール」をクリックすると、右のような画面が表示されます。
インストールを続行する場合は「次へ」をクリックしてください。



2. 次に使用許諾契約の内容が表示されますので、同意してインストールを続行する場合は「はい」を押してください。



3. インストール先を変更する場合は「参照」を押して指定のフォルダにインストール先を変更することができます。
インストールを続行する場合「次へ」を押してください。
※アンインストールの際インストールフォルダ内の実行ファイルから行いますので、インストール先を変更する場合はインストール先を覚えておいてください。



4. インストール実行前の最終確認が表示されますので、ご確認ください。問題がなければ「次へ」を押してください。



5. インストールが正常に終了すると右図のような画面が表示されますので「はい」を押すと再起動します。
※コンピュータの状態や別アプリケーションが実行されていて再起動が自動的にされない場合は手動で再起動を行ってください。



インストールとアンインストール方法

インストール方法(クライアント)

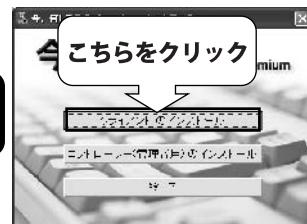
最初に起動中の他のアプリケーションソフトを停止させる

他のアプリケーションが起動している最中や、ウイルス対策ソフトなどの常駐型ソフトが起動している場合は、機能を事前に停止・又は終了させてからインストールの作業を行ってください。

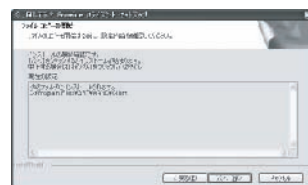
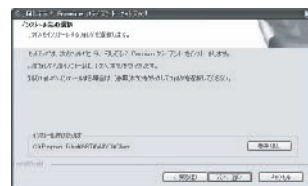
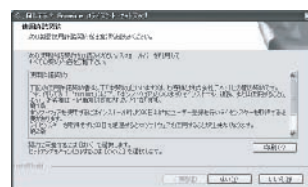
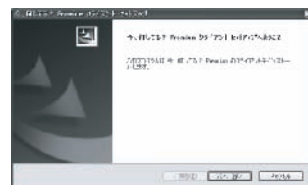
※WindowsOSやお使いのパソコンそのものが不安定な場合も、正常にインストールが行われない場合がございます。

※お使いのコンピュータの設定や、インストールされている他のアプリケーションソフトにより、自動でセットアップが始まらない場合がございます。その場合は、〔マイコンピュータ〕→〔CD-ROM(またはDVDドライブ)〕→〔setup.exe〕をダブルクリックしてください。

監視、制御を行いたいコンピュータにインストールする場合は「クライアントのインストール」を選択します。



1. 「クライアントのインストール」をクリックすると、右のような画面が表示されます。インストールを続行する場合は「次へ」をクリックしてください。
2. 次に使用許諾契約の内容が表示されますので、同意してインストールを続行する場合は「はい」を押してください。
3. インストール先を変更する場合は「参照」を押して指定のフォルダにインストール先を変更することができます。インストールを続行する場合「次へ」を押してください。
※アンインストールの際インストールフォルダ内の実行ファイルから行いますので、インストール先を変更する場合はインストール先を覚えておいてください。
4. インストール実行前の最終確認が表示されますので、ご確認ください。問題がなければ「次へ」を押してください。
5. インストールが正常に終了すると右図のような画面が表示されますので「はい」を押すと再起動します。
※コンピュータの状態や別アプリケーションが実行されていて再起動が自動的にされない場合は手動で再起動を行ってください。



アンインストール方法 (共通)

アンインストールは、インストールフォルダ(C:¥Program Files¥GRT¥WAYD) 内に、コントローラーの場合は「Controller」、クライアントの場合は「Client」というフォルダが出来ますので、各フォルダの中にあるUnInstall.exeというファイルをダブルクリックしてアンインストールを行ってください。



アンインストールの実行ファイルを起動すると確認のメッセージが表示されますので、アンインストールを行う場合は「はい」を押してください。



アンインストールが完了すると、右のような確認が表示されます。本ソフトはアンインストール後再起動する必要がありますので、このまま再起動を行っても良い場合はそのまま「完了」を押してください。

後で再起動を行う場合は「いいえ、後でコンピュータを再起動します。」にチェックを入れてから「完了」を押してください。
※ファイルの保存等が終わったらなるべく早めに再起動を行ってください。



起動方法



コントローラー側の起動



スタートボタンをクリックして**すべてのプログラム** ▶ **DE-NET** ▶ **今何してる？** とたどって**コントローラー**をクリックします。

※WindowsXPより以前のWindowsでは「すべてのプログラム」が「プログラム」と表示されています。

クライアント側の起動

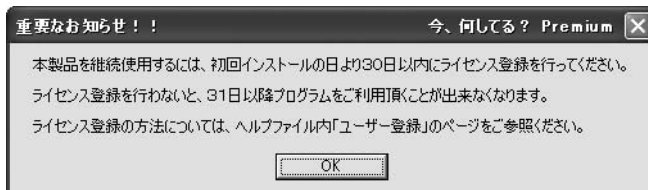
クライアントのプログラムは、コンピュータの起動と共に自動的に起動しますので、クライアントコンピュータの使用者および管理者が直接プログラム起動の操作を行うことはありません。

初回起動時

本パッケージは、使用開始から、1年間の使用ライセンスの販売ですので、使用期間を確定するために使用開始後30日以内にライセンス登録行っていただく必要があります。

初回起動に下図のようなメッセージが表示されますので、「Ok」を押して使用を開始してください。

※併せて次のページもご確認ください。



ライセンス登録の方法

ライセンス登録の手順

ライセンス登録完了までの流れは、右のチャートのようになります。

プロダクトIDは本ソフト起動後の操作メニュー項目より「メンテナンス」の中の「ライセンス情報」を選択します。ライセンス情報のウィンドウが表示され「プロダクトID」の部分に英数字の値が表示されます。

表示されているプロダクトIDを弊社ホームページのライセンス登録用フォームに入力し、その他の必要事項を入力してください。

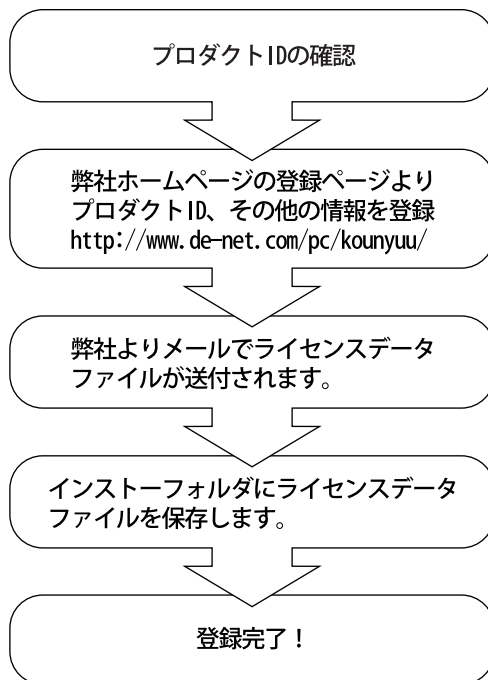
※本ソフトヘルプファイルの「ユーザー登録、使用許諾」のページに弊社登録ページのリンクが貼ってあります。

※プロダクトIDはコントローラーをインストールしたコンピュータのMacアドレスを基に生成されます。ご登録時にプロダクトIDの入力に誤りがあると、弊社から送付されるライセンスデータファイル自体に誤った情報が書き込まれ正常に登録できませんのでご注意ください。

またコンピュータやネットワークカードを新しくする場合も、最初に発行されたライセンスデータファイルはご使用になれませんので、お手数ですが新たにライセンスデータファイルの再発行の手続きを行ってください。

※ライセンスデータファイルは、プロダクトIDをご登録いただいたてから長期休暇を挟みますと最大10日間かかりますのでお早めにご登録ください。

※ライセンス登録の際本マニュアルの表面に張ってあるシリアルも必要になります。



ライセンスデータファイルの登録手順

弊社よりメールで送付されたライセンスデータファイルをインストールフォルダに保存します。メールに添付された「Wlicense.dat」をインストールフォルダ(インストール先の変更をしていない場合は、C:\Program Files\GRT\WAYD\Controllor)に保存をしてください。



←ライセンスデータファイルアイコン

※コンピュータやインストールされているソフトによってアイコンは変化します。
図はWindowsXP 標準時のアイコンです。

ライセンスの更新について

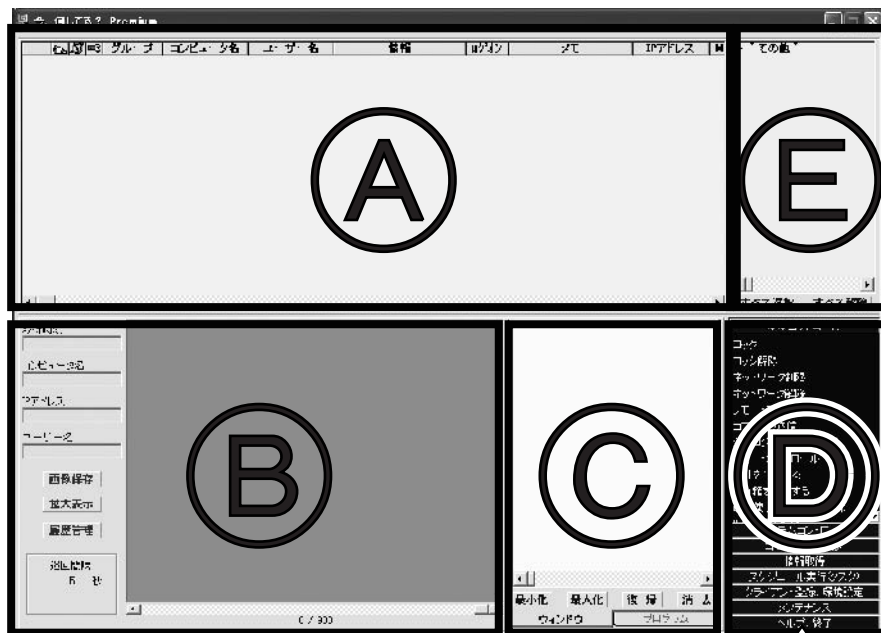
本ソフトは、登録日より1年間ご使用いただくことが出来ます。使用期限につきましては本ソフトコントローラーの操作メニュー項目「メンテナンス」の中「ライセンス情報」よりご確認いただけます。更新日を過ぎていてもライセンスの更新をされない場合、本ソフトは使用できなくなりますのでご注意ください。

ライセンス更新手続きにつきましても弊社ホームページより行えます。詳しくは弊社ホームページ <http://www.de-net.com/pc/kounyuu/> の更新手続き、もしくはユーザーサポートまでご連絡ください。

※本ソフトヘルプファイルの「ユーザー登録、使用許諾」のページに弊社登録ページのリンクが貼ってあります。

コントローラーメイン画面

本ソフトを起動すると表示される画面です。通常の管理や操作はこの画面より行います。



- A.** 登録されたクライアントのリストを表示する場所です。
表示説明→P14 操作説明→P19
- B.** 指定したクライアントのデスクトップの画像を表示する場所です。
表示説明→P15 操作説明→P20
- C.** 指定したクライアントの現在起動しているアプリケーションの一覧を表示する場所です。
表示説明→P16 操作説明→P24
- D.** 操作メニュー項目が並ぶ場所です。各種操作はこのメニューより行います。
操作、各項目の説明→P17、P27～42
- E.** クライアントをグループ分けをした場合のグループのリストを表示する場所です。
操作説明→P18

ヘルプファイルが
参照できます。

クライアント側

各クライアントプログラムのインストールされているパソコンを起動すると、自動的にクライアントプログラムが起動しますが、特に画面やタスクバーに表示されることはありません。

※コントローラーから特定の操作を行った場合はメッセージやタスクバーに状況が表示されます。

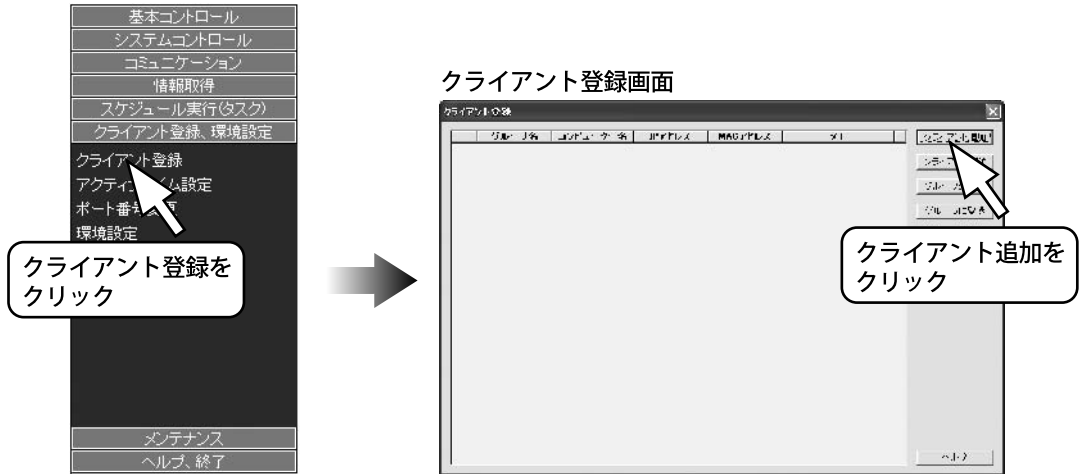
クライアントの追加

管理者側(コントローラー)と、クライアント側のプログラムを、全てのコンピュータへインストールしましたら次に、コントローラーへクライアントの登録を行います。

※クライアント数は「ライセンス情報」に表示されている数までしか追加できません。

(1パッケージ10クライアント) クライアント数追加ご希望の場合は、弊社ホームページ

<http://www.de-net.com/pc/kounyuu/> よりお手続きください。

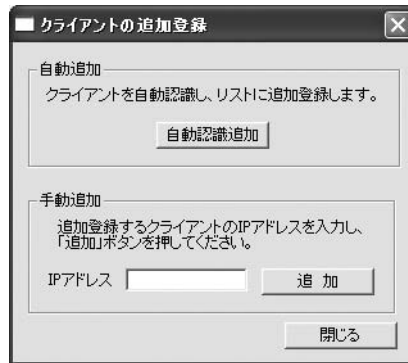


自動追加

通常はこの方法でクライアントを追加登録します。「自動認識追加」ボタンを押すと、数秒後に新しく認識したクライアントをリストに自動登録します。※一回で認識追加できない場合は、数回この操作を行ってください。

手動追加

異なるネットワークにあるクライアントは自動追加出来ないことがあります。その場合はクライアントのIPアドレスを入力して手動追加することが可能です。



クライアントの追加登録画面

クライアントをコントローラーから認識するとクライアント登録画面にクライアントの情報が表示されます。クライアントプログラムをインストールしたコンピュータが全て表示されましたらクライアントの追加登録画面を閉じてください。

リスト表示されたクライアントをグループ分けして管理したい場合は次の「クライアントのグループ分け」にお進みください。

グループ分けをする必要がない場合は、クライアント登録画面の「保存して終了」を押してください。

クライアントのグループ分け

登録されたクライアントが複数ある場合クライアントをグループに分けて管理することが出来ます。グループで管理を行う場合、クライアント登録画面の「グループの作成」で新しくグループ名を設定します。

1. グループを作成する

グループ名入力欄にグループ名を入力して「リストに追加」を押すとグループが作成されます。

リストに追加されたグループを削除する場合「リストから削除」を押してください。

※既にクライアントが登録されているグループ名を削除してもグループ名が削除されるだけでクライアントは削除されません。またグループフォルダは無くなりますがクライアントの所属するグループ名は削除したグループ名のままになりますので、クライアント登録画面よりクライアントを選択して「グループ解除」を押してください。

グループ名の編集が完了しましたら「保存して終了」を押すと内容が保存されます。

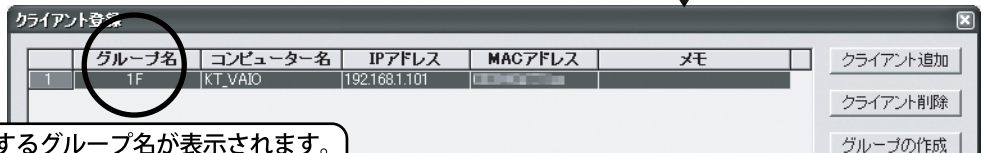
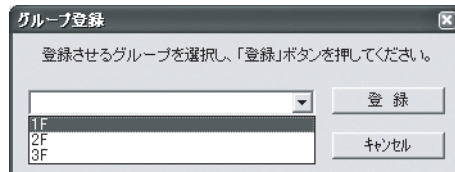
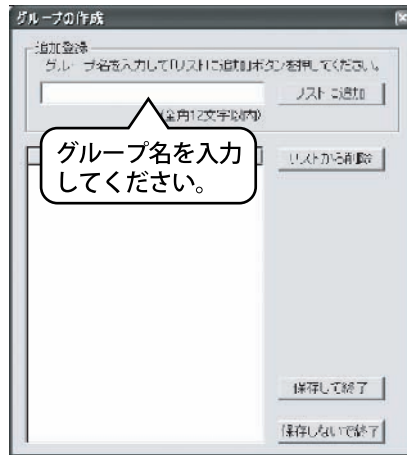
「保存しないで終了」を押すと編集内容の変更は反映されません。

2. クライアントを作成したグループに所属させる

クライアント登録画面より所属させたいクライアントを選択し、「グループに登録」を押します。

▼を押すと先ほど追加したグループ名がリスト表示されますので、所属させたいグループを選択してください。グループを選択して、登録を実行する場合は「登録」を押してください。

グループ作成画面



クライアント登録画面

全てのクライアントの登録、及び、グループの登録が完了しましたら登録画面の「保存して終了」を押してください。

ここまでのQ & A

Q・電話、ハガキでライセンス登録できませんか？

A・本ソフトご使用の動作環境としてEメール、インターネットへの接続環境は必須ですので申し訳ございませんが弊社ホームページよりライセンス登録のお手続きをお願いいたします。
<http://www.de-net.com/pc/kounyuu>

Q・ライセンス登録や更新手続きをしなかった場合どうなりますか？

A・初回のライセンス登録及び使用期限の更新手続きを行われないと、本ソフトの使用に制限が掛かります。

Q・クライアントの追加で「自動認識追加」でクライアントが出てこない

A・コントローラーおよびクライアントにおいてファイアウォールが動作していて「パソコン管理人」のポケットがブロックされていないかご確認ください。
また、IPマルチキャストポケットがスイッチ等でフィルタリングされている場合、自動認識追加を行うことが出来ません。その際は手動登録をご利用ください。

Q・ファイアウォール越しに使用したい場合は？

A・ウィルス対策ソフト等の場合は、各ソフトの設定で通信を許可するプログラムを登録することができます。この設定に本ソフトで使用するEXEを登録することで使用できるようになります。

Q・IPマルチキャストがブロックされるネットワーク環境では、どのような機能が利用できなくなりますか？

A・次の機能がご利用いただけません。

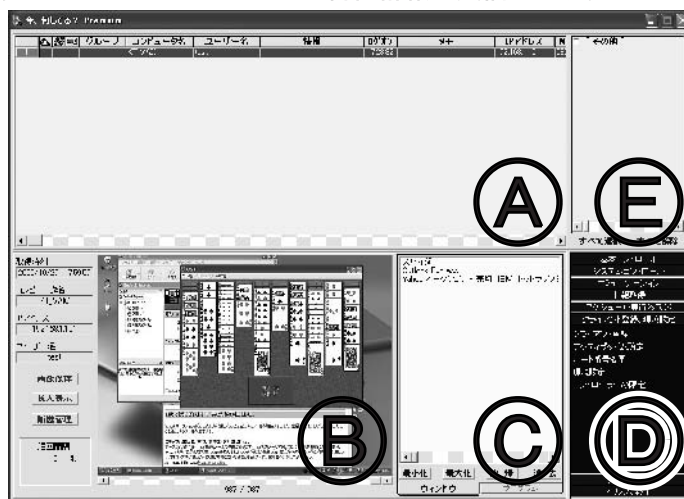
1. クライアントの自動認識追加
2. 音声メッセージの送信
3. コントローラー画像の配信
4. クライアント画像の配信

Q・別の事務所のコンピュータを管理(接続)することはできますか？

A・固定IPが割り振られていることが、条件となります。
ルーター等を通しての接続はOSによってプライベートIPの固定とルーターでポートの開放等の設定によって可能となります。

クライアントリスト **A**

メイン画面より登録されたクライアントからの各種情報を受信します。



クライアントリストは上部の見出しに対する各クライアントの情報を取得し表示します。

	グループ	コンピュータ名	ユーザー名	情報	ログオン	メモ	IPアドレス	MACアドレス	ポート番号
1	1F	KT_VAIO	test	WindowsXP Service Pack 1	17:28:32		192.168.1.101		17777

マウスアイコン

このアイコンが表示されているクライアントはマウス操作を検知して、活動状態(アクティブ)であることを示します。一定時間マウスによる操作がないと、マウスアイコンは消えます。

ネットワーク禁止アイコン

このアイコンが表示されているクライアントはネットワーク制限中であることを示します。

ロックアイコン

このアイコンが表示されているクライアントはロックされていることを示します。

グループ

所属するグループが表示されます。グループに所属しない場合は、空欄になります。

コンピュータ名

クライアントのコンピュータ名が表示されます。

ユーザー名

ログオンしているユーザー名が表示されます。誰もログオンしていない場合は、「ログオフ状態」と表示されます。

コンピュータが起動していなかったり、利用できない状態にある時は空欄になります。

情報

クライアントから送られてきた様々な情報が表示されます。

ログオン

現在のユーザーがログオンした時刻を表示します。(利用開始時間)

メモ

任意の文字を入力して表示しておくことが出来ます。(覚え書き等に利用)設定は「クライアント登録」で行います。

IPアドレス

クライアントのIPアドレスを表示します。

MACアドレス

MACアドレスを表示します。(電源の遠隔投入に利用されます。)

ポート

番号現在の基準ポート番号を表示します。

クライアント情報(画像表示部分) ②

クライアント情報の画像表示領域には指定したクライアントのデスクトップの画像を取得して表示します。画像は1期間、最大1000枚分までストックし、1000枚取得すると自動的に過去の画像として圧縮し保存されます。圧縮保存されていない取得した画像は下のスクロールバーで過去の画像を確認できます。

任意のタイミングでクライアントのデスクトップ画像を取得するにはクライアントリストから取得したいクライアント名を右クリックします。

※画像の取得中又は取得に失敗した場合は画面がグレーに表示されます。

※画像を取得できない(特定の動画やアプリケーション、スクリーンセーバー、ログオフ時)場合は画面が黒く表示されます。



1000枚の画像を取得すると自動保存が実行されます。

取得時刻

画像を主取得した時刻を表示します。

コンピュータ名

クライアントリストで表示されているコンピュータ名を表示します。

IPアドレス

クライアントリストで表示されているIPアドレスを表示します。

ユーザー名

クライアントリストで表示されているユーザー名を表示します。

画像保存

現在表示している画像をBMPファイルとして保存します。図1参照

拡大表示

最新の画像のみ拡大表示することが出来ます。図2参照

履歴管理

取得した画像を圧縮して保存したり、保存された過去の画像読み込みます。

巡回間隔

設定した巡回間隔の時間を表示します。自動巡回を開始するとこの表示が「巡回中」と表示されます。

図1



縮小され保存されますので拡大表示しても元の画像品質は再現できません。細部を確認するには不向きです。

図2



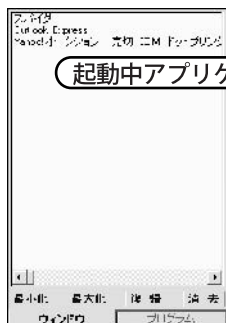
拡大表示はコントローラー側の画像解像度に合わせて表示しますので、特にワイド比率のクライアントを通常比率のコントローラーで(逆パターンも)見るとだいぶ違和感があります。

画像のサイズについて

本ソフトに表示される画像は438×328に縮小されます。「画像保存」で保存された画像もこのサイズで保存されます。また「拡大表示」で表示される画像はコントローラーの画像解像度の比率に合わせて拡大もしくは縮小されますので解像度の比率が違うクライアントの画像を表示すると実際のクライアント側の表示とは違うものになりますので、出来るだけコントローラーと、クライアントの解像度をあわせておくことをお勧めします。

クライアント情報 (アプリケーション表示部分) ③

クライアントが現在起動しているアプリケーションを一覧表示します。表示は下のタブで「ウィンドウ」と「プログラム」で切り替えられ、「ウィンドウ」ではタスクマネージャーの「アプリケーション」が取得する情報と同じものを、「プログラム」では「プロセス」が取得する情報を表示します。各アプリケーションやプログラムはコントローラーから終了させることが可能です。



起動中アプリケーション一覧



実行中プログラム一覧

最小化

リストに表示されているウィンドウを一つずつ選択して最小化することが可能です。最小化したときに、対象のウィンドウがすでに存在しなかった場合は実行されません。最新の情報を取得した直後に実行されることをお勧めします。

最大化

リストに表示されているウィンドウを一つずつ選択して最大化することが可能です。最大化したときに、対象のウィンドウがすでに存在しなかった場合は実行されません。最新の情報を取得した直後に実行されることをお勧めします。

復帰

リストに表示されているウィンドウで最小化、最大化されているウィンドウを一つずつ選択して、元のサイズに戻すことが可能です。

復帰したときに、対象のウィンドウがすでに存在しなかった場合は実行されません。最新の情報を取得した直後に実行されることをお勧めします。

消去

リストに表示されているウィンドウを一つずつ選択して消去(終了)することが可能です。

消去したときに、対象のウィンドウがすでに存在しなかった場合は実行されません。最新の情報を取得した直後に実行されることをお勧めします。

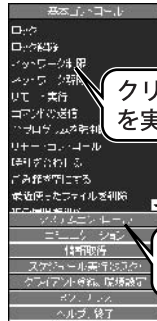
プログラム終了

選択したプログラムを強制終了することが出来ます。C:\¥Program Files¥GRTで始まるプログラムを終了するとコントロールが出来なくなる、もしくは正常に動作しなくなりますのでご注意ください。

またシステム関係のプログラムを終了させると、後の動作に支障を来すことがありますので、実行には十分にご注意ください。

コマンドパネル (操作メニュー項目) ④

クライアントに対しての操作や各種設定はこのコマンドパネルのメニューより行います。



クリックすると各項目の操作を実行します。

クリックすると関連する操作の詳細項目が開きます。

コントロールグループと操作項目一覧

制御系

基本コントロール

- ロック
- ネットワーク制限
- リモート実行
- コマンドの送信
- 全プログラムを強制終了
- リモートコントロール
- 時刻を合わせる
- ごみ箱を空にする
- 最近使ったファイルを削除
- IEの履歴を削除
- IEの一時ファイルを削除

システムコントロール

- 電源投入
- 電源切断
- 再起動
- ログオン
- ログオフ

コミュニケーション

- メッセージ文の送信
- 音声メッセージの送信
- コントローラー画像の配信
- クライアント画像の配信
- 画像配信の終了

スケジュール実行

- スケジュール電源投入
- スケジュール電源切断
- スケジュール画面監視
- スケジュールログオン
- スケジュールログオフ

監視系

情報取得

- クライアント情報取得
- ライアンと巡回
- マルチ画像監視
- リストの情報欄を消去
- プログラムインストール調整
- ファイルバージョン調査
- OS種別調査

設定系

クライアント登録、環境設定

- クライアント登録
- アクティブタイム設定
- ポート番号変更
- 環境設定
- コントローラーの限定

メンテナンス



- クライアントリストの出力
- クライアントリストの更新
- クライアント停止
- クライアントリセット
- クライアントバージョンアップ
- クライアントプログラム修正
- クライアントアンインストール

ヘルプ、終了

- ヘルプ
- バージョン情報(コントローラー)
- バージョン情報(クライアント)
- 終了

グループリスト

グループ分けをした場合、作成したグループを一覧表示します。

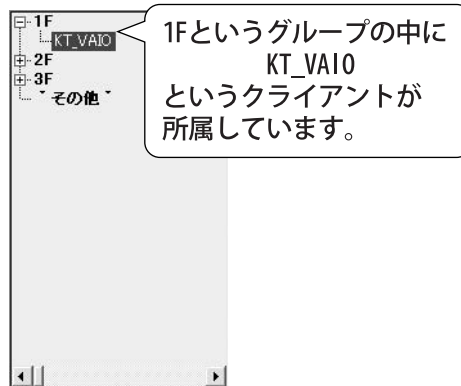
 をクリックするとそのグループに登録されたクライアントのリストが展開表示され  をクリックすると表示を閉じます。

クライアントリストには、登録したクライアント全員が表示されていますが、グループ名をクリックすると選択したグループのみに所属するクライアントだけが選択状態になります。

「Shift」を押しながらグループをクリックすると連続して複数のグループを選択できます。

「Ctrl」を押しながら、グループをクリックすると不連続で、任意のグループを選択できます。

「その他」はグループに属さないクライアント名が表示されます、その他をクリックしてもその中のクライアントは選択状態になりません。



「その他」はグループに属さないクライアント名が表示されます、その他をクリックしてもその中のクライアントは選択状態になりません。

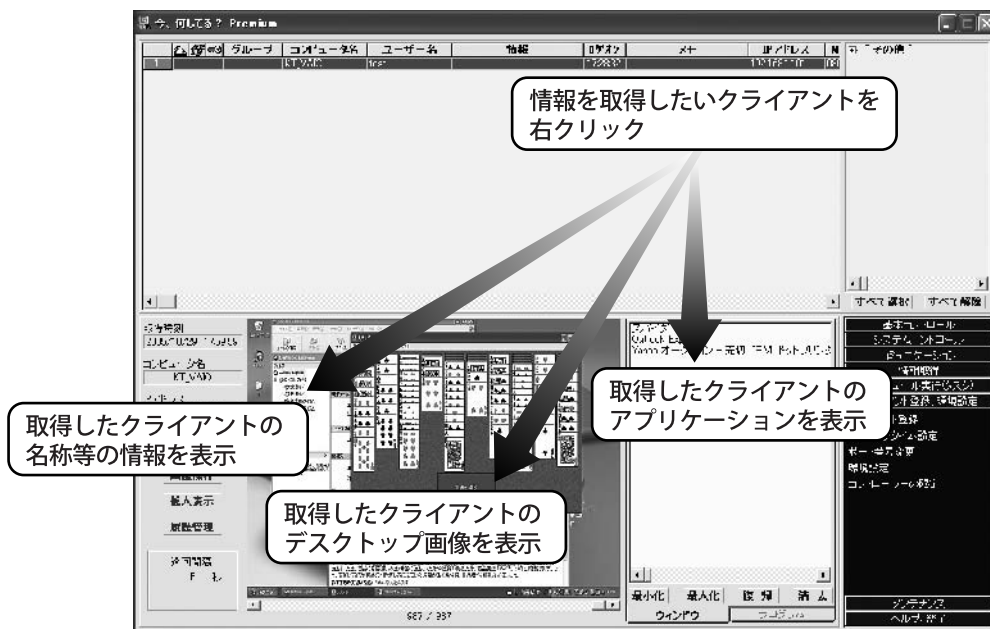
基本的な監視方法

各クライアントからの情報を取得します。

基本的な操作は、リストの中から情報を取得したいユーザー名を右クリックするだけで、任意のタイミングで任意のユーザーから、デスクトップ画像と各種情報を取得します。

自動巡回を実行していないときには次に情報を取得するまでデスクトップの画像及び、その他の情報は更新されません。

※本ソフトはクライアントの動きを察知してリアルタイムで情報を更新する機能はございません。
自動巡回も設定した時間ごとに情報を取得する機能です。



自動巡回

自動巡回に含めたいクライアントをリストより選択し、コマンドパネルの「自動巡回」を押すと自動巡回を実行します。

自動巡回は、クライアント情報の画像表示部分に、選択したクライアントの画像を順番に表示します。

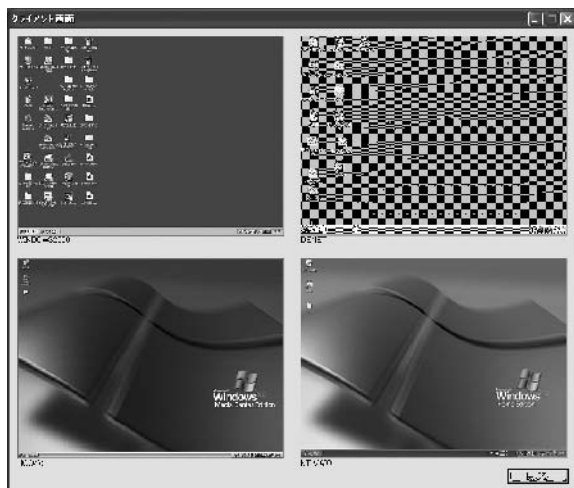
※グループリストよりグループを選択すると、そのグループ内のクライアント全員が選択状態になります。

※「Shift」を押しながらクライアントをクリックすると複数のクライアントを連続で選択できます。

※「Ctrl」を押しながらクライアントをクリックすると複数のクライアントを不連続に選択できます。

マルチ画面

複数のクライアントをマルチ画面で表示します。画面は選択したクライアント数に合わせて4分割、12分割、24分割、48分割で表示されます。



マルチ画面での操作

マルチ画面の各クライアント画面を

左クリックすると順番を待たずに最新画像を取得します。

右クリックすると、拡大表示します。

拡大した画像をダブルクリックすると画像を保存できます。

右クリックすると拡大表示を終了します。

※画像更新や、拡大画像の取得はクライアントのマシンやネットワークに負担をかけるため一定の間隔をあけて操作を行ってください。

拡大表示画面

拡大表示はマルチ画面から各画面をクリックもしくは、クライアント情報の画像表示部分の左側の「拡大表示」をクリックすると最大表示でクライアントのデスクトップの画像が表示されます。



拡大表示画面での操作

拡大表示の画面上でダブルクリックすると画像を保存できます。

右クリックすると拡大表示を終了します。

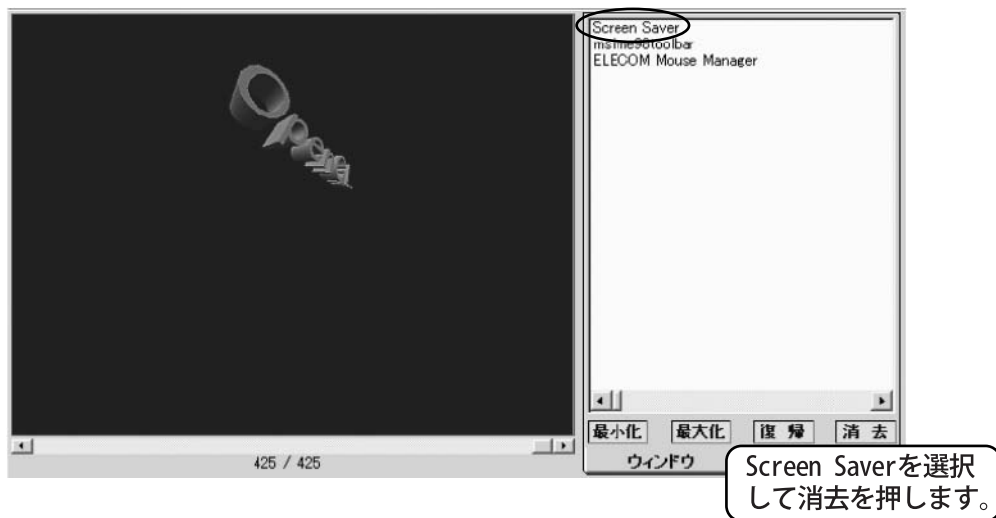
スクリーンセーバーからの画面復帰方法

クライアントのコンピュータのスクリーンセーバーが起動している場合は、Windows標準のスクリーンセーバー以外では、取得した画像は黒くなる場合があります。

またスクリーンセーバーを終了して画面復帰させたい場合は、Windows標準のスクリーンセーバーではクライアント情報のアプリケーション表示部分に「Screen Saver」もしくはスクリーンセーバーの名前が表示されますので、選択して「消去」を押すとスクリーンセーバーが終了し、画面が復帰します。Windowsの「画面のプロパティ」のスクリーンセーバーの設定で「再開時によろこそ画面に戻る」にチェックが入っている場合は、外してください。

※ここにチェックが入っている場合、コントローラーからスクリーンセーバーからの復帰は出来なくなります。

※Windows標準以外のスクリーンセーバーの場合は、プログラムリストに表示されない事もありますので、その場合は「システムコントロール」より一度「ログオフ」を行ったあと「ログオン」をすると復帰する可能性があります。



操作方法

基本的な制御方法 (時刻合わせ)

コントローラーから各クライアントがインストールされているコンピュータに対して制御したり、コミュニケーション等の操作が行えます。

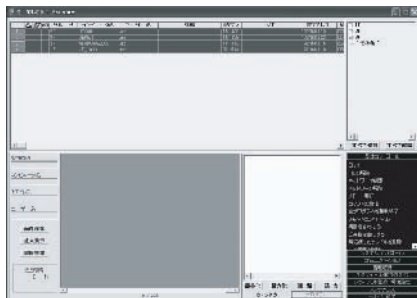
操作は、実行したいクライアントを選択して、「コマンドパネル」の項目より実行したい内容を押します。一度に複数のクライアントを選択して一括して操作を実行することが出来ます。

※操作の命令はIPマルチキャストにより各クライアントに一度だけ送信されます。相手の受信状態やPCの状態によっては、操作が実行がされない場合もあります。

※操作の項目の中には、クライアントに実行した後、コントローラーから操作不能になるものもありますので、十分に注意して下さい。

テストで、全てのクライアントの時刻を合わせてみましょう。

1. 操作を実行したいクライアントを選択します。



	グループ	コンピュータ名	ユーザー名	情報	日付	時刻	IPアドレス	備考
1	2F	J304X	user		11:14:33		192.158.1.13	2F
2	3F	JENET	user		11:14:35		192.158.1.22	3F
3	2F	WINDOW3000	user		11:14:12		192.158.1.16	その他
4	1F	KT_VAID	esl		02:15:14		192.158.1.101	

選択方法

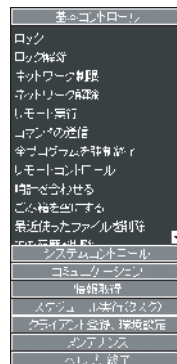
※グループリストよりグループを選択すると、そのグループ内のクライアント全員が選択状態になります。

※「Shift」を押しながらクライアントをクリックすると複数のクライアントを連続で選択できます。

※「Ctrl」を押しながらクライアントをクリックすると複数のクライアントを不連続に選択できます。

	グループ	コンピュータ名	ユーザー名	情報	日付
1	2F	WINDOW3000	user		11:14:12
2	2F	U3L3A	user		11:14:30
3	1F	KT_VAID	esl		02:15:14
4	3F	JENET	user		11:14:35

2. コマンドパネルより「時計を合わせる」を選択します。



基本的な制御方法 (メッセージの送信)

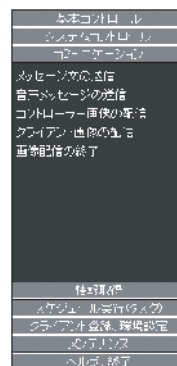
次に「コミュニケーション」の項目をテストしてみましょう。最大125文字までのメッセージをクライアントに送ることができます。

メッセージを送りたいクライアントを選択してコマンドパネルの「コミュニケーション」の中から「メッセージ文の送信」を押します。メッセージの入力ウィンドウが開きますので、メッセージを入力して「送信」を押して下さい。

1. メッセージを送信したいクライアントを選択します。

№	群	グループ	コンピュータ名	ユーザー名	情報	時刻	メセ	IPアドレス	№	群	その他
1		2F	JG04X	ueu		11:14:30		192.133.1.3	020		
2		3F	JENET	ueo		11:14:35		192.133.1.22	004		
3		2F	WINDOWS000	ueo		11:14:12		192.133.1.16	000		
4		1F	KT_VAD	est		02:16:14		192.133.1.101	000		

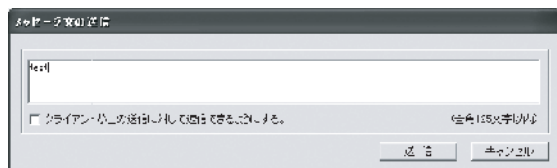
2. コミュニケーションより「メッセージ文の送信」を押します。



3. メッセージ入力ウィンドウにメッセージを入力し「送信」を押します。

このときに、「クライアントがこの送信に対して返信できるようにする。」にチェックを入れておくとクライアント側で表示されるメッセージに「返信文」の入力欄がつきクライアントがメッセージの入力ができるようになります。

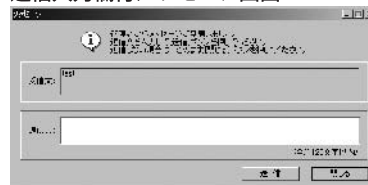
※チェックを入れないと返信文の入力欄は表示されません。



送信されたメッセージ画面

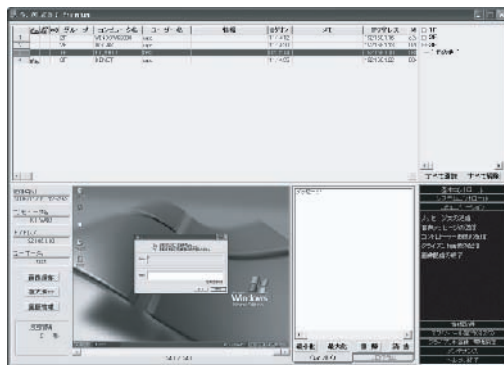


返信入力欄付メッセージ画面



基本的な制御方法 (クライアントのアプリケーションを終了させる)

次にクライアント情報のアプリケーション表示部分から送信したメッセージを閉じてみましょう。クライアント情報表示部分から行う操作は複数のクライアントに対して行えませんので、一つずつ選択して行います。



1. クライアントをリストより右クリックで選択します。

	グループ	コンピュータ名	ユーザー名
1	2F	WINDOWS2000	ugo
2	2F	UGO4X	ugo
3	1F	KT_VAIO	test
4	3F	DENET	ugo

2. クライアント情報のアプリケーション表示部分より「メッセージ」を選択します。



3. クライアント情報のアプリケーション表示部分の下にある「消去」を押します。

操作方法

基本的な制御方法 (クライアントの電源管理等)

次にシステムコントロールの項目をテストしてみましょう。

通常は「ログオフ」or「再起動」→「ログオン」を試してみてください。

「Wake on lan」機能のテストを行う場合は、BIOSの設定を確認したうえで「電源切断」→「電源投入」でテストしてください。

※Wake on lan(LANを通しての起動)

※ログオン時、各クライアント毎の設定で、アカウント(ユーザー)を複数作ってあるコンピュータの場合は、必ずパスワードの設定を行ってください。パスワードの設定がされていない場合はコントローラーからログオンすることはできません。

1. ログオフさせたいクライアントをリストより選択します。

	グループ	コンピュータ名	ユーザー名	情報	ログオン
1	2F	WINDOWS2011	ueo		11:14:2
2	2F	U304K	ueo		11:14:30
3	1F	KT_VAD	test		02:15:14
4	3F	DENET	ueo		11:14:35

2. コマンドパネルの「システムコントロール」より「ログオフ」を選択します。



3. ログオフしているクライアントを選択してコマンドパネルより「ログオン」押します。

	グループ	コンピュータ名	ユーザー名	情報	ログオン
1	2F	WINDOWS2011	ログオフ状態		
2	2F	U304K	ログオフ状態		
3	1F	KT_VAD	test		02:15:14
4	3F	DENET	ログオフ状態		

各クライアント毎のコンピュータの設定でユーザー名を同じ名前にしておくとも一度の操作でログオンさせることができます。各クライアント毎にコンピュータのユーザー名が違う場合リストより一つずつ選択してログオンを行ってください。



クライアントがログオンするとユーザー名とログオンの時刻が表示されます。

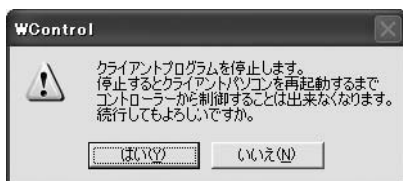
	グループ	コンピュータ名	ユーザー名	情報	ログオン
1	2F	WINDOWS2011	ueo		14:13:12
2	2F	U304K	ueo		14:13:30
3	1F	KT_VAD	test		02:15:14
4	3F	DENET	ueo		14:13:35

操作方法

終了時

コントローラー(プログラム)の終了は画面右上の閉じる(×)もしくはコマンドパネルの「ヘルプ、終了」の中の「終了」を押すと終了します。

パソコン管理人のクライアントプログラムは特に終了をさせる必要はありませんが、終了したい場合はコマンドパネルの「クライアント停止」を押すとプログラムが停止し、手動で再起動もしくは、次回コンピュータを起動するまではコントローラーから操作できなくなります。



クライアント停止を選択した時のメッセージ

クライアントのコンピュータを終了したいときには実行したいクライアントを選択して「システムコントロール」の中の「電源切断」を選択します。

その他

クライアントコンピュータの調子によって、情報取得(デスクトップ画像)や各種操作が効かなくなることがあります、その場合「Shift」を押しながら、各操作を行ってみてください。

またコマンドパネルの「メンテナンス」の中の「クライアントリセット」を行っても直る場合があります。

- ※取得できない原因として、クライアントのマシンパワーが低い場合や、特にタスクが多かったりすると、正常に情報取得ができない場合があります。
- ※ネットワークの設定や状態によっても情報が取得できなかったり、操作ができないことがあります。特に無線LANの場合は、画像を正常に取得できないケースが多くなります。
- ※デスクトップ画像取得はクライアントマシンやネットワークに負担がかかりますので、一定の間隔をおいて操作してください。連打は避けてください。

基本コントロール

ロック、ロック解除

リストにて選択されているクライアントの「マウスのクリック」および「キーボード操作」をロックします。ロック中は、クライアントリストの鍵アイコンが表示されます。クライアントがログオフ状態でロックを行うと、[Ctrl + Alt + Delete]によるログオン操作も出来なくなります。

【動作条件】

- ・複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- ・クライアントの状態が「ログオフ」「ログオン」共に実行可能です。
- ・USBキーボードなど一部のキーボードでは、[Ctrl + Alt + Delete]のキー操作はロックできません。

ネットワーク制限、ネットワーク解除

リストにて選択されているクライアントにおける通信を遮断します。制限中は、リスト内のネットワークアイコン(左から2つめの項目)が点灯します。遮断内容は、動作環境にて「すべての通信」と「インターネット接続のみ」が選択可能です。

動作条件

- ・複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- ・クライアントの状態が「ログオン」の時のみ実行可能です。
- ・制限中は、対象クライアントに対する双方向のネットワークパケットが遮断されます。

ロック中、ネットワーク制限中のクライアントは、クライアントリストの状態表示アイコンで確認できます。



リモート実行

選択したクライアントに対して、コマンドラインで指定したソフトなどを実行します。アプリケーションやバッチファイルを実行したり、ファイルを開くことが可能です。実行する内容はあらかじめ登録しておき、リストの中からワンタッチで選択、実行させることが出来ます。

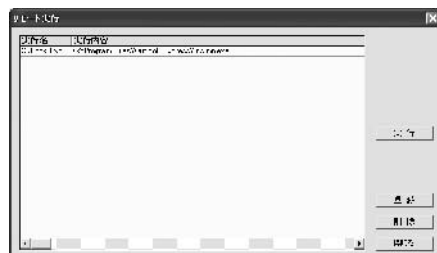
※パスの通っている実行ファイル以外はフルパスで入力してください。

※必要に応じてパラメータの入力も行えます。

【動作条件】

- ・複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- ・クライアントの状態が「ログオン」の時のみ実行可能です。
- ・実行は、ログオンしているユーザーの権限で行われます。

登録画面



コントローラーと同じソフトがクライアントも同じ場所にインストールされている場合「参照」で登録したいソフトを選択してください。「登録」を押すとリモート実行するソフトのリストに登録されます。

コマンドパネル項目説明

コマンドの送信

選択したクライアントに対してコマンドラインで指定したソフトなどを実行します。アプリケーションやバッチファイルを実行したり、ファイルを開くことが可能です。実行する内容は使用する都度入力します。

※パスの通っている実行ファイル以外はフルパスで入力してください。

※必要に応じてパラメータの入力も行えます。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能です。
- 入力する実行ファイルなどは、実際に実行するクライアント上のフォルダ位置をフルパスで指定。
- 実行は、ログオンしているユーザーの権限で行われます。ログオフ時は システム権限となります。

リモート実行は実行内容を登録しておける機能があるだけで、リモート実行、コマンド実行ともに動作的に同じです。リモート実行登録の「実行内容」コマンド送信の「コマンド」の入力欄の右側についている「参照」はいつでも、コントローラーのディレクトリを参照します。ここからのプログラム選択はクライアント側も同じパスにプログラムが存在しないと、実行されませんのでご注意ください。

全プログラムを強制終了

選択したクライアントに対して実行中の全てのプログラムを強制終了させます。編集中のファイルがあっても保存されることなく強制終了するので、実行には注意が必要です。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントの状態が「ログオン」の時のみ実行可能です。

リモートコントロール

選択したクライアントに対して、リモートコントロールソフトを介して接続します。利用するリモートコントロールソフトは、予め「動作環境」にて登録しておきます。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行は不可。
 - クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能です。
- ※リモートコントロールに使用するソフトは別途ご用意いただく必要があります。

時計を合わせる

選択したクライアントのOS上の時計をコントローラーの時刻に合わせます。使用開始前にコントローラーの時計を正確な時刻に校正しておくことをお勧めします。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能

ごみ箱を空にする

選択したクライアントのごみ箱を空にします。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能です。
- ログオフ時に実行すると、全てのユーザーのごみ箱が空になります。
- ログオン時に実行すると、ログオンしているユーザーのごみ箱のみが空になります。

最近使ったファイルを削除

選択したクライアントの最近使ったファイルの削除を行います。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントの状態が「ログオン」の時のみ実行可能です。
- 削除されるのは、ログオンしているユーザー

IEの履歴を削除

選択したクライアントのInternet Explorerの履歴を削除します。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントの状態が「ログオン」の時のみ実行可能です。
- 削除されるのは、ログオンしているユーザーの履歴のみです

IEの一時ファイルを削除

選択したクライアントのInternet Explorerの一時ファイルを削除します。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントの状態が「ログオン」の時のみ実行可能です。
- 削除されるのは、ログオンしているユーザーの一時ファイルのみです

システムコントロール

電源投入

選択したクライアントの電源を投入します。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントパソコンが電源の遠隔投入(Wake on LAN)に対応している必要がある。
- ブロードキャストパケット(Magic Packet)が通らない、異なるネットワークのパソコンは電源投入出来ません。

電源切断

選択したクライアントの電源を切断します。クライアントにて実行中のアプリケーションは強制終了となるので注意が必要です。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能です。

再起動

選択したクライアントを再起動(リブート)します。クライアントにて実行中のアプリケーションは強制終了となるので注意が必要です。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能です。

ログオン

選択したクライアントを任意のアカウントでログオンします。ドメインへのログオンやローカルアカウントでのログオンが可能です。ローカルアカウントでのログオンの場合、「ドメイン名」の入力欄は空白のままとします。

【動作条件】・複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。

ログオフ

選択したクライアントでログオン状態のクライアントをログオフします。クライアントにて実行中のアプリケーションは強制終了となるので注意が必要です。

【動作条件】・複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。

コミュニケーション

メッセージ文の送信

選択したクライアントに対してメッセージを送信することが可能です。

「クライアントがこの送信に対して返信できるようにする。」のチェックをオンにして送信すると、受信したクライアントはそのままコントローラーに対して返信文を送信する事が可能となります。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントの状態が「ログオン」の時のみ実行可能です。

音声メッセージの送信

選択したクライアントに対して音声メッセージを送信することが可能です。

送信する音声メッセージは、最大180秒以内で自由に録音することが出来ます。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- 音声データの配信が終了してから、クライアントでの再生が開始されます。
- IPマルチキャストが通過できない、異なるネットワークのパソコンに対しては送信できません。

コントローラー画像の配信

選択したクライアントに対してコントローラーのデスクトップ画像を配信して表示させる事が可能です。実行を開始すると、自動的にコントローラーのウィンドウを最小化してタスクバーに格納します。画像の配信は、[Ctrl]と[PrintScreen]キーを同時に押下することで開始します。

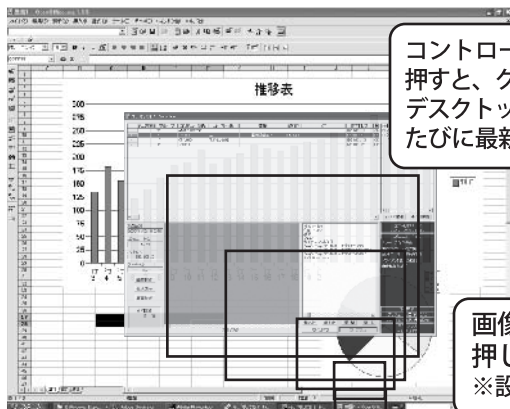
クライアントでは画像の表示と同時に、キーボードとマウスがロックされます。配信が完了したとき、コントローラーではビーブ音が鳴ります。

「キー操作」のキーおよび「ロック」の有無は「動作環境」で変更可能です。

画像表示中、コントローラーにて[Shift]キーを押しながらマウスを移動すると、ポインタの動きがそのままクライアントでも再現されます。「画像配信の終了」を行うまで、キー操作を行うことで何度でも画像の配信が可能です。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントの状態が「ログオン」の時のみ実行可能です。
- IPマルチキャストの通らない、異なるセグメントのネットワークには配信出来ません。
- 画像の配信には、数秒から十数秒の時間を要します。



コントローラーが最小化されますので[Ctrl]+[PrintScreen]を押すと、クライアントへ今表示されているコントローラー側のデスクトップの画像を配信します。[Ctrl]+[PrintScreen]を押すたびに最新の画像を配信します。

画像の配信を終了するときには、「画像配信の終了」を押してください。
※設定によって、クライアントはロックされたままになります。

コントローラー側のデスクトップ

クライアント画像の配信

任意のクライアントのデスクトップ画像を他のクライアントに配信して表示させる事が可能です。配信元のクライアントを選択して実行を開始すると、配信が開始されます。

配信元以外のクライアントでは画像の表示と同時に、キーボードとマウスがロックされます。

「ロック」させるかどうかは、「動作環境」で変更可能です。

「画像配信の終了」を行うまで、「クライアント画像の配信」の操作を行うことで何度でも画像の配信が可能です。

【動作条件】

- 配信先のクライアントは選択できません。リストに登録されている 全クライアントが対象となります。
- クライアントの状態が「ログオン」の時のみ実行可能です。
- IPマルチキャストの通らない、異なるセグメントのネットワークには配信出来ません。
- 画像の配信には、数秒から十数秒の時間を要します。

画像配信の終了

「コントローラー画像の配信」および「クライアント画像の配信」の操作によって表示されているクライアントの画像を消去し、ロックを解除します。リストにて選択されているクライアントのみが対象となります。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントの状態が「ログオン」の時のみ実行可能です。

注意

画像の配信は、各コンピュータ間の画像解像度が違うと意図した画像を表示させることができませんのでできる限り、各コンピュータ間の画像解像度を合わせておいてください。

ネットワークの調子によっては、すべてのクライアントに正常な画像を配信されない場合もあります。

画像配信はその他の操作に比べて負荷の掛かる操作ですので各クライアントのマシンスペックに差がある場合表示時間にバラつきが生じます。

情報取得

クライアント情報取得

選択したクライアントのデスクトップ画像や詳細な動作情報を取得します。この操作はリスト内のログオンしているクライアント名を右クリックすることでも、同様に情報取得することが出来ます。取得した情報は履歴として保存され、いつでも呼び出して表示できます。履歴データの呼び出しは、縮小画面下部にあるスクロールバーで操作します。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行するとは出来ません。
- クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能です。ただしログオフ時の画像取得は出来ません。
- クライアントにて重い処理を実行中であるなど、CPU負荷が高い状態にあるとき、画像のみ又はすべての情報が取得出来ない事があります。

マルチ画面監視開始

選択されたクライアントのデスクトップ画像を一覧表示します。選択されたクライアントの数に応じて自動的に4分割、12分割、24分割、48分割の画面で表示されます。

※48以上のクライアントを選択してマルチ画面で表示した場合、下に「次へ」のボタンが表示され画面を切り替えることができます。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントの状態が「ログオン」の時のみ実行可能です。
- クライアントにて重い処理を実行中であるなど、CPU負荷が高い状態にあるとき、画像が取得出来ない事があります。



左クリックで、巡回の順番に関係なく最新画像に更新します。

右クリックで、拡大表示します。

マルチ画面 (4分割)

リストの情報欄を消去

クライアントリストの「情報」欄に表示されている内容を消去します。

プログラムインストール調査

クライアントにてアプリケーション(プログラム)がインストールされているかどうか、調査することが可能です。調査の対象は「プログラムの追加と削除」の一覧に表示される項目になります。調査対象が見つかったら、その項目名がクライアントリストの「情報」欄に表示されます。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能です。

コマンドパネル項目説明

ファイルバージョン調査

クライアントのディスク上にあるファイルのバージョン番号を取得することが可能です。ファイルの指定は、調査するクライアントのディスク上の絶対位置を指定する必要があります。調査対象は、プログラムなどバージョン情報を持つファイル種別に限られます。取得されたバージョン番号は、クライアントリストの「情報」欄に表示されます。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能です。

OS種別調査

クライアントのOS種別とサービスパック番号を取得することが可能です。調査結果は、クライアントリストの「情報」欄に表示されます。

【動作条件】

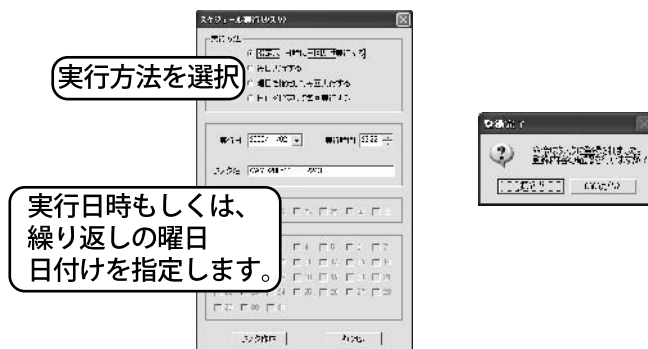
- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能です。

スケジュール実行

ウィンドウズの「タスクのスケジュール機能」を利用してクライアントに対してシステムコントロールの操作を行います。「タスクのスケジュール」はコントローラー側のウィンドウズの機能を利用していますので予定日時にコントローラー側のコンピュータが起動していないと実行されません。

※タスクのスケジュール機能はウィンドウズの機能です。ウィンドウズの設定やインストールされているアプリケーションの影響によってタスクが正常に実行されない場合もあります。

※スケジュールの予定日時にコントローラー側のコンピュータが起動されていれば「パソコン管理人」が起動していなくても実行されます。



電源投入(タスク)

リストにて選択されているクライアントの電源を、指定された日時に投入します。スケジュールは「タスク」に登録されます。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントパソコンが電源の遠隔投入(Wake on LAN)に対応している必要があります。
- ブロードキャストパケット(Magic Packet)が通らない、異なるネットワークのパソコンは電源投入出来ません。
- スケジュール実行はコントローラー側のタスクを利用して実行されるため、タスクが実行される時間にコントローラー側のコンピュータが起動している必要がありますが、ログオンしていなくても実効はされます。

スケジュール実行

電源切断(タスク)

リストにて選択されているクライアントの電源を、指定された日時に切断します。スケジュールは「タスク」に登録されます。

クライアントにて実行中のアプリケーションは強制終了となるので注意が必要です。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能です。
- スケジュール実行はコントローラー側のタスクを利用して実行されるため、タスクが実行される時間にコントローラーが起動している必要があります。ただし、ログオンしている必要はありません。
- クライアントのIPアドレスについて、タスクを作成した時のアドレスと、タスクを実行する時のアドレスが異なる場合は正常に機能しません。DHCPなどのご利用で、毎回異なるIPアドレスがクライアントパソコンに割り当てられる環境でのスケジュール実行は行わないでください。

再起動(タスク)

リストにて選択されているクライアントを、指定された日時に再起動(リブート)します。

スケジュールは「タスク」に登録されます。

クライアントにて実行中のアプリケーションは強制終了となるので注意が必要です。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能です。
- クライアントのIPアドレスについて、タスクの作成した時のアドレスと、タスクを実行する時のアドレスが異なる場合は正常に機能しません。DHCPなどのご利用で、毎回異なるIPアドレスがクライアントパソコンに割り当てられる環境でのスケジュール実行は行わないでください。

ログオン(タスク)

リストにて選択されているクライアントを、任意のアカウントで指定された日時にログオンします。スケジュールは「タスク」に登録されます。ドメインへのログオンやローカルアカウントでのログオンが可能です。ローカルアカウントでのログオンの場合、「ドメイン名」の入力欄は空白のままとします。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントのIPアドレスについて、タスクを作成した時のアドレスと、タスクを実行する時のアドレスが異なる場合は正常に機能しません。DHCPなどのご利用で、毎回異なるIPアドレスがクライアントパソコンに割り当てられる環境でのスケジュール実行は行わないでください。

ログオフ(タスク)

リストにて選択されているログオン状態のクライアントを、指定された日時にログオフします。

スケジュールは「タスク」に登録されます。クライアントにて実行中のアプリケーションは強制終了となるので注意が必要です。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
 - クライアントのIPアドレスについて、タスクを作成した時のアドレスと、タスクを実行する時のアドレスが異なる場合は正常に機能しません。DHCPなどのご利用で、毎回異なるIPアドレスがクライアントパソコンに割り当てられる環境でのスケジュール実行は行わないでください。
- クライアント登録管理するクライアントをリストに追加したり、削除したりします。
グループを作成して、クライアントを所属させることも可能です。

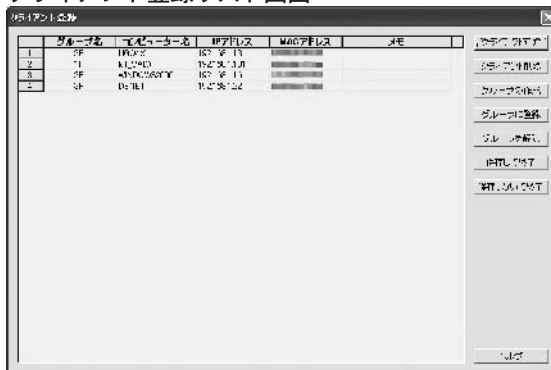
クライアント登録、環境設定

クライアント登録

クライアントやグループの追加や削除のなどはこの画面より行います。

※追加できるクライアント(ライセンス数以内)やグループの数に特に制限はありません。

クライアント登録リスト画面



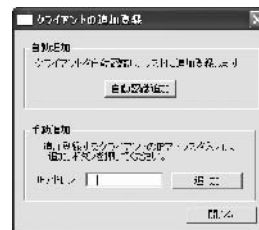
【クライアント追加】

通常は「自動追加」でクライアントを追加登録します。「自動認識追加」ボタンを押すと、数秒後に新しく認識したクライアントをリストに自動登録します。

※一回で認識追加できない場合は、数回この操作を行ってください。

「手動追加」は異なるネットワークにあるクライアントの場合、自動追加出来ないことがあります。

その場合はクライアントのIPアドレスを入力して手動追加することが可能です。



【クライアント削除】

削除したいクライアントを選択して「クライアント削除」ボタンを押します。

【グループの作成】

クライアントを所属させるグループの作成を行います。「グループの作成」ボタンを押してリストに追加登録したいグループ名を入力し「リストに追加」ボタンを押します。

リストから削除したいグループをリストから選択し「リストから削除」ボタンを押します。

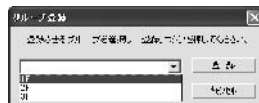
※削除されるのはグループの名前だけで、所属するクライアントの登録は削除されません。

クライアントの所属を解除するには「グループを解除」を実行してください。



【グループに登録】

リストからクライアントを選択し、「グループ登録」ボタンを押すと、作成したグループの選択画面が表示されますので、所属させたいグループを選択して、「登録」を押してください。



クライアント登録、環境設定

【グループの解除】

リストからクライアントを選択し、「グループを解除」ボタンを押すと、グループ所属を解除します。所属のないクライアントは、メイン画面グループリスト内の「その他」に表示されます。

【終了】

「保存して終了」ボタンを押すと、リストの内容をファイルに保存して終了します。変更内容を保存したくない場合は、「保存しないで終了」ボタンを押します。
※右上の × で画面を閉じるとこのウィンドウで行った追加や編集内容は保存されませんのでご注意ください。

【その他】

クライアント登録リストの項目の中で、[IPアドレス]、[MACアドレス]、[メモ]欄は直接編集する事が出来ます。[メモ]はプログラムから利用することはなく、管理者が任意の文字列を入力して利用することが可能です。(覚え書きなどに利用してください。)

	グループ名	コンピューター名	IPアドレス	MACアドレス	メモ
1	1F	KT_VAIO	192.168.1.101		
2	2F	WINDOWS2000	192.168.1.16		2F資料室のPC
3	2F	UGO4X	192.168.1.13		
4	3F	DENET	192.168.1.22		

アクティブタイム設定

クライアントリストの一番左に表示される「マウス」アイコンの表示条件(時間)を設定します。クライアントにてマウス操作を行っている間、リスト内の「マウス」アイコンが表示されます。ここで設定した時間内、クライアントがマウス操作が行われないと「マウス」アイコンは消えます。これにより、クライアントが現在アクティブな状態(PCを使用しているか)かどうかを簡単に識別することができます。

【設定条件】

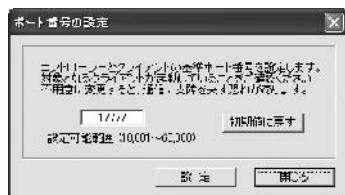
- 複数のクライアントを選択して同時設定が可能です。
- クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に設定可能です

ポート番号変更

コントローラーとクライアントが通信する際に利用する基準ポート番号を変更できます。ポート番号が一致しないクライアントとは、一切通信を行うことが出来なくなりますので第三者が「パソコン管理人」のコントローラーを使用しても既に登録されているクライアントを発見できなくなります。またほかのソフトなどとポートが競合している場合(コントローラー、クライアント共に)にも変更させておいたほうがスムーズに通信が行えます。ポート番号の変更操作は、管理するクライアント全てに対して同時に実行することをお勧めします。変更は順次表示される案内に従って操作してください。

【設定条件】

- 複数のクライアントを選択して同時設定が可能です。
- クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に設定可能です。
- 設定時、起動していないクライアントの設定は変更されない。



ポート番号を設定



クライアントのコンピュータを再起動させます。



確認メッセージが表示されますので「パソコン管理人」を一度終了して、起動させてください。

コマンドパネル項目説明

環境設定

各機能の動作に関する設定を行います。詳細は下の「環境設定項目」をご参照ください。

コントローラーの限定

クライアントを管理することが出来るコントローラーを限定することが出来ます。この設定を行ったクライアントは、他のコントローラーから制御したり、情報を取得する事は出来ません。限定したり、解除するにはパスワードが必要となります。パスワードを忘れると、解除操作ができなくなりますのでご注意ください。現在の限定状況を調べるには、クライアントを選択して「限定を確認」ボタンを押してください。リストの「情報」欄に結果が表示されます。

※コントローラーは1パッケージ1つですので、複数必要な場合は、コントローラーの分だけパッケージをご購入していただく必要がございます。

【設定条件】

- 複数のクライアントを選択して同時設定が可能です。
- クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に設定可能です。
- 限定できるコントローラーは1台のみです。• 限定されるコントローラーの識別はIPアドレスによって行われます。

環境設定項目

各機能の動作に関する設定を行います。設定変更後は、それぞれのグループ内にある「設定」ボタンを押してください。

※「設定」ボタンを押さないで終了しますと、変更内容は反映されませんのでご注意ください。



【管理者パスワード】

インストール直後のコントローラーは誰でも起動して利用できる状態にあります。セキュリティ上、好ましくない場合はパスワードを設定することで利用者を制限することが出来ます。パスワードが設定されていると、コントローラー起動時にパスワードの入力を要求するウィンドウが表示されます。誰でも利用できるようにしたいときは、パスワード入力欄を空欄にして「設定」ボタンを押してください。

【ネットワーク制限モード】

「ネットワーク制限」を掛ける時、すべての通信を遮断するか、インターネットの利用のみ制限するかを選択できます。インターネットの利用制限は、[Web]、[Mail]、[Ftp]の利用を標準ポート番号により制限します。

【クライアント巡回間隔】

「クライアント巡回」により、クライアント情報を自動取得する際の間隔を設定します。間隔は1秒から設定可能ですが、あまり短いとネットワーク環境やコンピュータのパフォーマンスによっては正常に取得できない事があります。一般的に3秒以上の間隔を設定してご利用になることをお勧めします。

※本設定は「マルチ画面監視」の時のインターバル値としても利用されます。

コマンドパネル項目説明

【ロック時に表示するメッセージ】

クライアントをロックすると、マウスおよびキーボードの操作が全く無効となり、フリーズしたとユーザーに誤解される恐れがあります。ロック中、そのことを示す簡単な案内文を表示させる事が出来ます。メッセージ表示の必要がない場合は、入力欄を空欄のままにします。

【リモートコントロール】

「パソコン管理人」から連動して起動させるリモートコントロールツールの設定を行います。WindowsXP Professional搭載の「リモートデスクトップ」と多くのユーザーがいる「VNC」はそれぞれのボタンを押すことで、標準的な値(リモートコントロールプログラムのインストール場所、パラメーター)が入力欄に表示されます。「リモートコントロールプログラム」の入力は必須で、実行ファイルのフルパスを指定する必要があります。「ラメータ」については、それぞれのリモートコントロールのマニュアルを参考に値を入力してください。「基本コントロール」の「リモートコントロール」実行時には設定したパラメータの後に、接続するクライアントのIPアドレスがプログラムによって自動付加されますので、各プログラム起動の際クライアントのIP入力は省かれます。

※リモートコントロールプログラムの設定や使用方法は各ソフトの販売元メーカー様にお問い合わせください。

【画像配信キー】

「コミュニケーション」の「コントローラー画像配信」の際コントローラーの画像配信を開始するための、キー操作を選択します。(デフォルトは(Ctrl)+(Print Screen)です。)

他のアプリケーションなどで利用されていないキーの組み合わせを選択してください。

【配信画像表示時のロック】

クライアント側で配信画像を表示している間、ユーザーによるコンピュータの操作を禁止したい時は、「クライアントをロックする」を選択してください。ロックされていないと、ユーザーは表示されている画面を[Esc]キー[Shift]+[F4]キーなどで配信した画像を消去することが可能となります。

メンテナンス

ライセンス情報

ライセンス登録に関する情報が表示されます。



管理可能クライアント数

管理可能クライアント数は現在、コントローラーで管理することが出来るクライアントの最大数です。購入直後は10台となっており、ライセンスを追加購入すると購入した分のクライアント数が加算されて表示されます。クライアントの追加購入は株式会社デネットのWebページから行って頂くことが可能です。
<http://www.de-net.com/pc/kounyuu/> (クライアントの追加)

サービス期間満了日

表示されている日付までプログラムを利用することができます。継続利用する場合は、新しいライセンスを購入してください。

プロダクトID

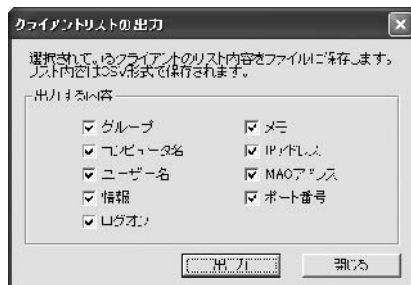
ここに表示されている番号を正確に、ユーザー登録ページの「プロダクトID入力欄」に入力してユーザー登録を行ってください。

ライセンス番号

ライセンスデータファイルの保存を行って登録が正常に完了すると、ライセンス番号が表示されます。空欄の場合は、ライセンス登録が完了していないことを示します。

クライアントリストの出力

リストに表示されている内容の一部または全部をファイルに保存することができます。保存したファイルはCSV形式のテキストファイルなので、他のアプリケーションで再利用できます。出力したい項目にチェックをつけて「出力」を押してください。
※ファイル名および、拡張子をつけて保存してください。



クライアントリストの更新

クライアントリストの内容は常に最新の状態を表示するようになっていますが、クライアントが異常終了したりネットワークが一時的に切断された場合などは、更新されない可能性があります。このような場合には、対象のクライアントを選択して「クライアントリストの更新」を実行することにより、現在の状態を再取得することが可能です。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能です。

クライアント停止

一時的にクライアントの動作を強制的に停止させることが出来ます。一度この操作を行うと、クライアントが再起動するまで、情報取得や制御を行うことは出来なくなります。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能です。

クライアントリセット

何らかの原因でクライアントからの情報取得が出来なくなったり、正常に動作しなくなった場合は、この操作を行うことによって正常な動作に復帰することが可能です。

この操作は、クライアントパソコンを再起動するのではなく、「パソコン管理人」のクライアントプログラムを起動時の状態に復帰させます。(バックグラウンド動作)

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能です。

クライアントバージョンアップ

クライアントプログラムのバージョンアップをコントローラーから実行することが可能です。バージョンアップ時に提供されるプログラムをクライアントに配信し、インストールを自動実行させることが出来ます。本機能の操作方法は、バージョンアップ時に案内されます。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能です。

クライアントプログラム修正

クライアントに対して修正プログラムを配信し、入れ替えることが出来ます。本機能の操作方法は、修正プログラムの適用が必要になったときに別途案内されます。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントの状態が「ログオン」の時のみ実行可能です。

クライアントアンインストール

クライアントプログラムのアンインストールをコントローラーから実行することが可能です。

【動作条件】

- 複数のクライアントを選択して同時実行が可能です。
- クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能です。

ヘルプ、終了

バージョン情報(コントローラー)

「パソコン管理人」コントローラーのバージョンを表示します。

バージョン情報(クライアント)

「パソコン管理人」クライアントのバージョンを表示します。取得したバージョンは、クライアントリストの「情報」欄に表示されます。

【設定条件】

- 複数のクライアントを選択して同時設定が可能です。
- クライアントの状態が「ログオフ」、「ログオン」共に実行可能です。

終了

コントローラーを終了するには、コマンドパネルの[終了]を選択します。ウィンドウの右上にある「閉じる」ボタンを押すことでも終了します。

履歴の管理

メイン画面のクライアント情報の左側にあるボタンの中の「履歴」を押すと履歴データの管理画面が表示されます。

過去に取得したクライアントのデスクトップ画像と、情報は1000件分ずつ、圧縮したデータを単一のファイルとして保存されています。

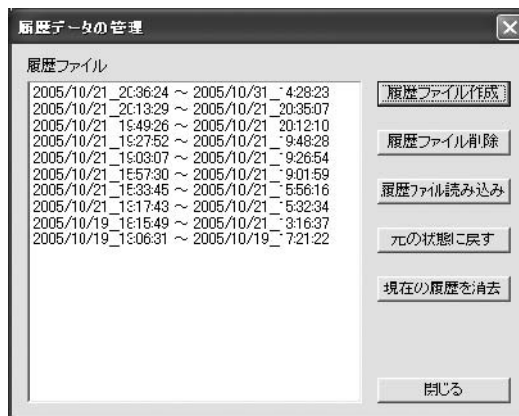
履歴データの管理画面から過去のデータを読み込んだり、削除などの管理を行うことができます。

※履歴データはコントローラーの実行ファイルと同じ場所にある「History」というフォルダの中に保存されます。

※一期間分の履歴データのファイルはおおよそ、50~90MBくらいのサイズになります。

※履歴ファイル読み込み中は、現在のクライアント情報は取得はできませんが、履歴として残りませんのでご注意ください。

※履歴データの読み込み中及び、読み込んだ情報を元に戻す作業にはスペックの高いマシンでも1分くらいの時間がかかります。



【履歴ファイル作成】

履歴データは1,000件ごとに自動作成されますが、このボタンを押すことで圧縮ファイルにし保存を実行します。

【履歴ファイル削除】

不要となった圧縮ファイルをディスク上から削除します。削除したい履歴ファイルをリストから選択し、「履歴ファイル削除」ボタンを押してください。

【履歴ファイル読み込み】

履歴ファイルを読み込み、メイン画面のクライアント情報に表示します。現在表示されているデータは一時的に別エリアにバックアップされます。

【元の状態に戻す】

メイン画面のクライアント情報に表示されている内容を現在のデータに戻します。「履歴ファイル読み込み」によって過去のデータが表示されているときのみの有効な操作です。

【現在の履歴を消去】

現在表示されているクライアント情報をすべて消去します。過去の履歴データを表示しているときは実行されません。

【操作ガイド】

履歴ファイルのリストには、それぞれ記録されているデータの開始日時と終了日時が表示されます。各操作は、記録されているデータの件数に応じて、処理には数秒から数分の時間を要します。処理中は絶対に中断処理(閉じる)を行わないでください。履歴データが消失することがあります。

Q & A

Q・電話、ハガキでライセンス登録できませんか？

A・本ソフトご使用の動作環境としてEメール、インターネットへの接続環境は必須ですので申し訳ございませんが弊社ホームページよりライセンス登録のお手続きをお願いいたします。

Q・電源の遠隔投入を行うには、どのようなパソコンが必要ですか。

A・まずクライアントのパソコンのがWOL (Wake on LAN)に対応している必要があります。
自作パソコンの場合は「マザーボード」、「電源」、「LANカード」のすべてがWOLをサポートしていなければなりません。

メーカー製パソコンの場合は、そのパソコンが対応していれば操作説明書のどこかにその旨の記載があるはずで

す。ただし、メーカーによって呼称が若干異なる場合があります。基本的にインストールされているOSの種別はWOLには関係ありませんが、一部に影響を及ぼす物もあります。

※Wake on LANの設定は大抵BIOSでDisabled(無効)になっていますので、設定をご確認ください。

※デュアルブート環境等で起動の途中にキー操作が必要な場合はログイン画面までたどり着かないこともあります。

Q・電源の遠隔切断を行うには、どのようなパソコンが必要ですか。

A・ハードウェアとOSの双方が対応している必要があります。

現在のパソコンのほとんどはこの機能をサポートしていますが、一部の機種では設定変更の必要性があります。

OSの手動操作にて自動的に電源が切断される機種であれば、問題ありません。

Q・毎日、一定の時間に無人で予め指定したパソコンの電源を投入することはできますか。

A・はい、クライアント側のパソコンがWake on LANに対応していれば可能です。またスケジュール機能はOSのスケジュール機能とコントローラの持つコマンドライン実行機能を組み合わせることで実現されますのでコントローラーがインストールされているパソコンがスケジュールの予定時間に起動されていることが条件となります。

Q・クライアントの画像はどれぐらいの時間で表示されますか。

A・クライアントパソコンの性能にもよりますが、縮小画像であれば概ね1秒以内に表示されます。フルサイズの画像表示には3～5秒程度かかります。

Q・クライアントのデスクトップ画面を表示した際、乱れた画像が表示されることがあります。

A・画像の乱れは以下の場合に起こる可能性があります。本ソフトの障害ではありません。

○クライアントのマシンのスクリーンセーバーが動作している場合。

○節電機能などが働いている場合。

○クライアントマシンのマシンスペックが低い。

○ネットワークの接続が不安定な場合。

Q & A

- Q・クライアントパソコンのアクティブ検出機能とは何ですか。
- A・クライアントパソコンにて誰かが何らかの作業を行っていることを、コントローラ側に通知し、リスト内に表示する機能です。P14(マウスアイコン)をご参照ください。
これにより、管理者は現在どのパソコンが利用中であるかを識別することが容易となります。
- Q・プレゼンテーションなど、各パソコンにコントローラ側の画像を送りたい。
- A・「コントローラ画像配信」機能は学校やパソコンスクールなどの教育機関で、教師用の画面を全生徒のディスプレイに表示させるときにご利用いただくと便利な機能です。
クライアントのディスプレイ画面は完全にコントローラの画面に置き換わります。
この時、クライアントのマウスとキーボードをロックし、勝手な操作が出来ないように設定もできます。1画面あたりの転送時間は2秒程度で、ワンアクションで次から次に新しい画面の転送が可能ですので、プレゼンなどで資料の画像をクライアントのディスプレイに表示させるのにも最適です。
また、コントローラのパソコンのマウスの動きはリアルタイムでクライアントの画面上で再現することもできますので、マウスポインターで指示しながら説明を行うことが可能です。
- Q・あるクライアントパソコンの画面を、他のクライアントのディスプレイに表示させることは出来ませんか。
- A・可能です。コントローラからの指示で、任意のクライアントの画面を他の全クライアントに配信表示させることが可能です。(クライアント画像配信)P31をご参照ください。
- Q・クライアントプログラムが常駐している状態で、システムに負荷が掛かることはないですか。
- A・コントローラからの指示を実行しているとき以外は、システム(OS)に対して継続的に負荷が掛かるようなことはありません。
- Q・すべてのクライアントパソコンに対して同時に何らかの操作を行ったとき、ネットワークに負荷が掛かることはありませんか。
- A・通常の制御や命令はIPマルチキャストによって一回の送信ですべてのクライアントパソコンにパケットが配信されるため、ネットワークに負荷が掛かることは全くありません。
ただし、「音声メッセージの送信」の機能は個別に配信しますので、配信する音声ファイルのサイズとクライアントの台数によってはかなりの負荷が掛かることが考えられます。
- Q・2つのコントローラから同じクライアントを監視、制御はできますか？
- A・可能です。逆に悪意を持った人から監視や制御を守るために、コマンドパネルの「クライアントの登録・環境設定」の中の「コントローラ限定」の設定を行うことによって、第三者が勝手に監視や制御することを防げます。

ユーザーサポートについて

問い合わせについて

お客様より頂いたお問合せに返信できないという事がございます。
問い合わせを行っているにもかかわらず、サポートからの返事がない場合、弊社ユーザーサポートまでご連絡が届いていない状態や、返信先が不明(正しくない)場合が考えられます。

FAX及びe-mailでのお問合せの際には、『ご連絡先を正確に明記』の上、サポートまでお送りくださいますよう宜しくお願い申し上げます。

弊社ホームページ上から問い合わせの場合弊社ホームページ上から、サポート宛にメールを送ることが可能です。

弊社ホームページ

<http://www.de-net.com>

問い合わせページ

<http://www.de-net.com/pc3/user-support/otoiawase/index.htm>

『ご購入後の製品についてのご質問』をお選びください。

直接メール・FAX・お電話等でご連絡の場合

- ソフトのタイトル・バージョン
例：「パソコン管理人 今、何してる?Premium」
- ソフトのシリアルナンバー
例：DE-XXX-XXXXX-XXXXXX
- ソフトをお使いになられているパソコンの環境
 - ・OS及びバージョン
例：WindowsXP SP2、WindowsUpdateでの最終更新日〇〇年〇月〇日
 - ・ブラウザのバージョン
例：InternetExplorer 6
 - ・パソコンの仕様
例：NEC XXXX-XXX-XX PentiumIII 1GHz HDD 60GB Memory 64MByte
- お問合せ内容
例：～の操作を行ったら、～というメッセージがでてソフトが動かなくなった
□□□部分の操作について教えてほしい…etc
- お名前
- ご連絡先(正確にお願い致します)
メールアドレス等送る前に再確認をお願いいたします。

無料ユーザーサポート

E-mail: info@de-net.com

Tel: 048-640-1002 Fax: 048-640-1011

サポート時間 : 10:00~17:30 (土・日、祭日を除く)

パソコン管理人

今、何してる？ Premium

DE-117

De-
Net
com